



女子大学生ICT駆動  
ソーシャルイノベーションコンソーシアム  
WUSIC  
Women's University students ICT-driven Social Innovation Consortium

# 「女子大学生ICT駆動ソーシャルイノベーションコンソーシアム」 概要資料

---

## 女子大学生ICT駆動ソーシャルイノベーションコンソーシアム運営委員会

津田塾大学

総合政策学部 総合政策学科 曾根原 登 教授

日本女子大学

理学部 数物科学科 長谷川 治久 教授

東京女子大学

現代教養学部・心理コミュニケーション学科・コミュニケーション専攻

渡辺 隆行 教授

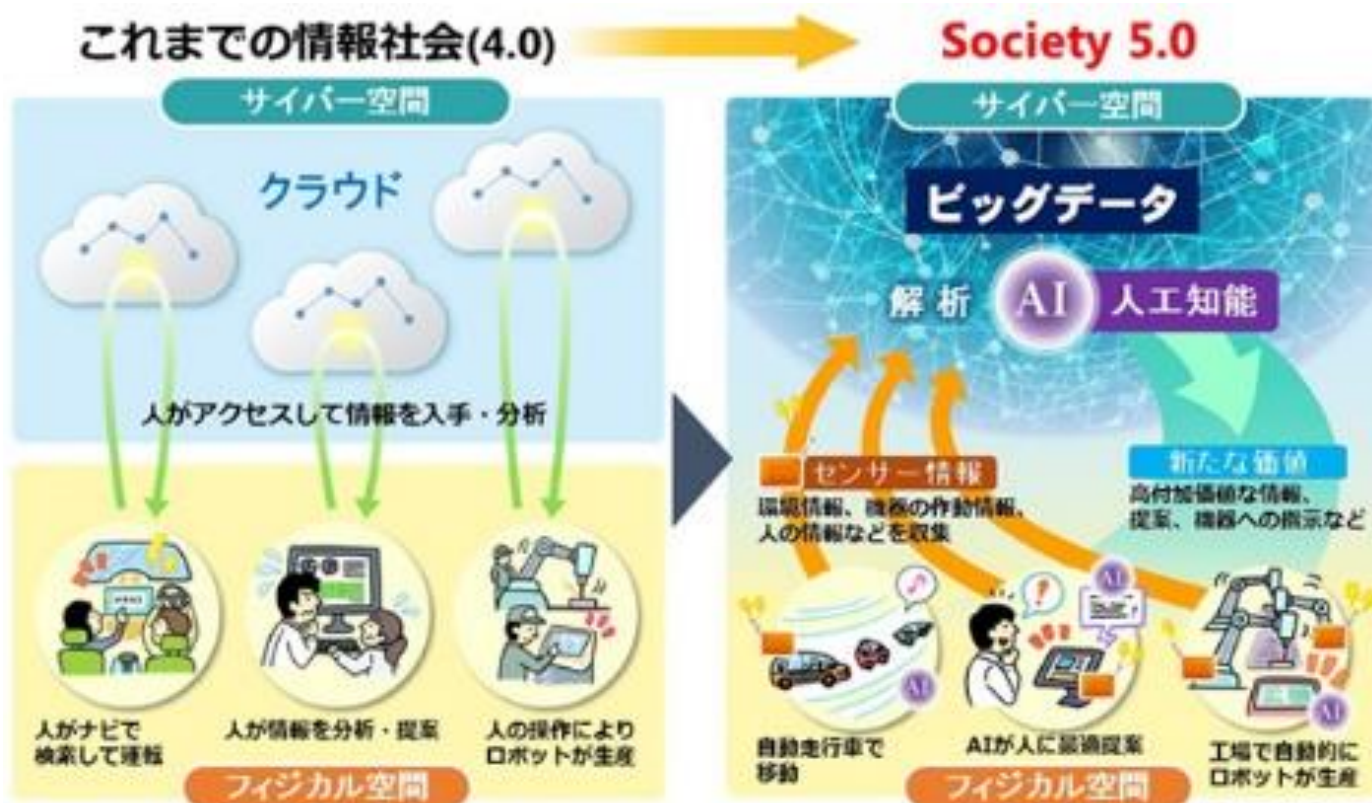
活水女子大学

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社、富士通株式会社、アシアル株式会社、  
アドビ株式会社、株式会社セールスフォース・ドットコム

# / コンソーシアム設立の背景

## Society 5.0に向け、 文理専攻を問わず全ての人にICTリテラシーが求められる社会に

＜内閣府の提唱する新世代：Society 5.0の世界＞



＜2020年度よりプログラミング順次必修化＞

小学校

- ・総合的な学習の時間
- ・プログラミング、英語の開始(2020年)

中学校

- ・情報の活用、情報モラルなど情報教育を充実

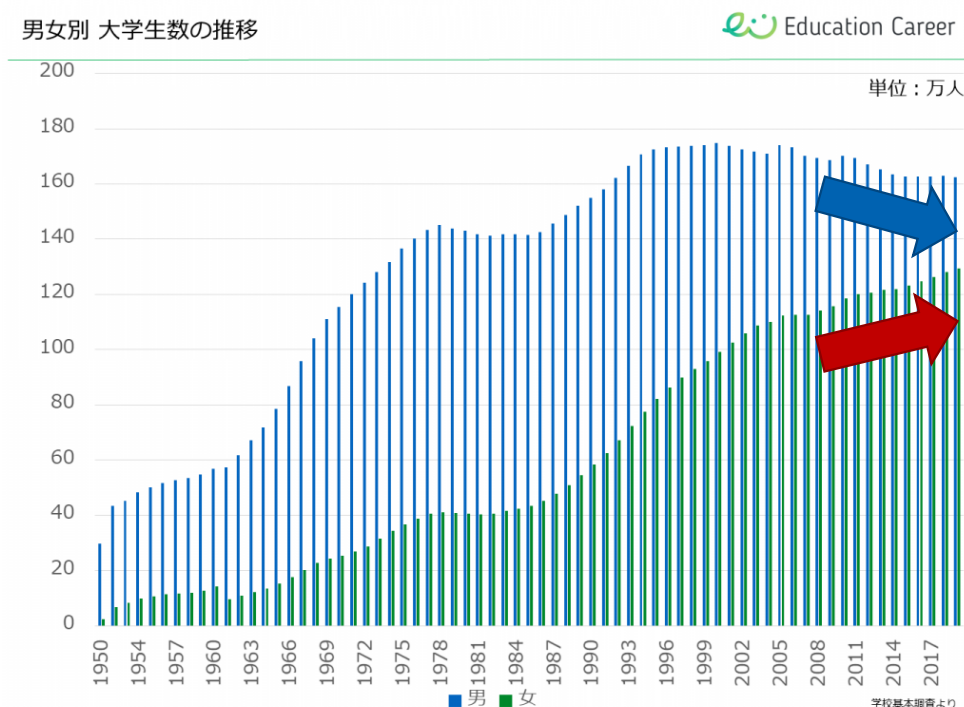
高等学校

- ・情報Ⅰ ※共通必修科目

内閣府資料： [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/)

## 【ご参考】 男女別の大学生数推移

少子化が叫ばれるなか、**大卒女性の数は2020年現在も増加傾向**



男子大学生数は1950年の約30万人が最少、2000年の約175万人が最多  
女子大学生数は1950年の約2万5,000人が最少、2019年の約129万人が最多

# / コンソーシアム設立の目的

高度情報化した**Society 5.0時代を牽引する女性リーダー**の育成

## 女性活躍

### 社会で活躍できる女性を育成

「働く女性が希望に応じて能力を十分に発揮できるダイバーシティ社会を実現すべく、政府が目指す未来社会である「Society 5.0」の社会を牽引する女性リーダーを育成

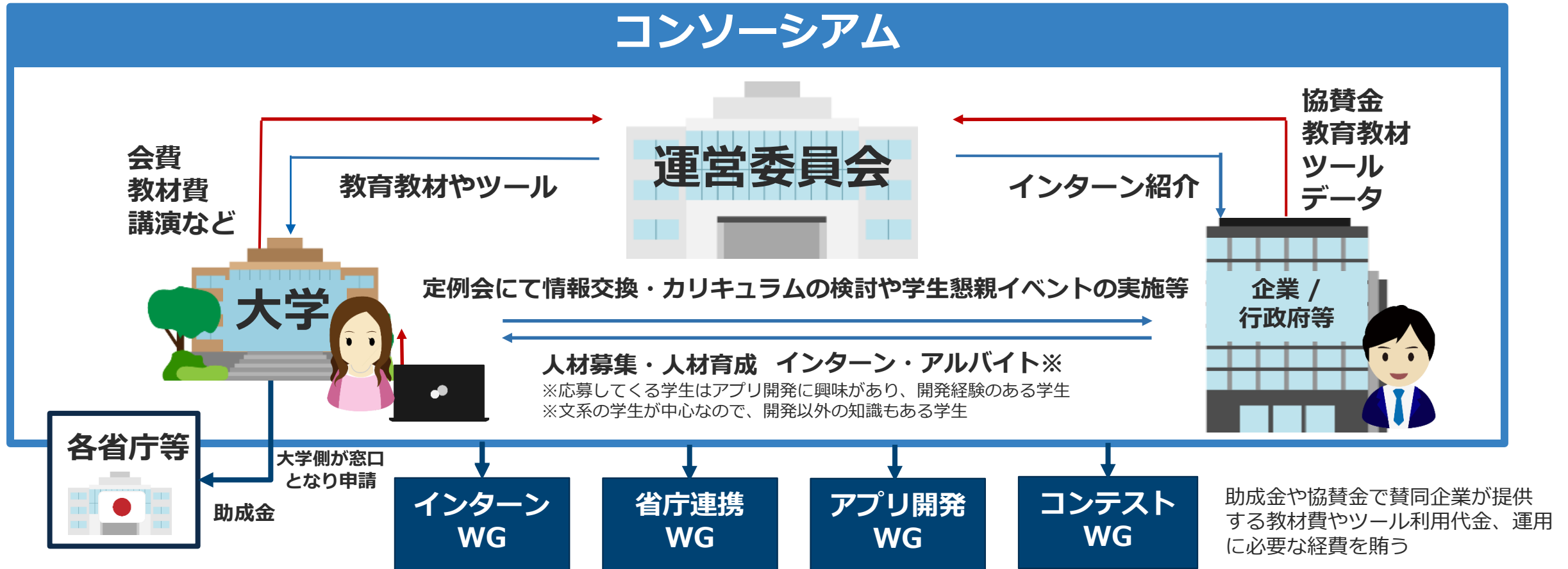
## アプリ開発を通じた ICTリテラシーの向上

### 文系と理系の専門分野を問わず 女子大学生のICTプログラミング リテラシーの向上

スマートフォンアプリ開発を通じてプログラムやクラウドの仕組みを理解し、データのやり取りを把握でき、システムやサービスの設計や開発体験をし、地に足の着いた提案ができる

# コンソーシアム全体図

**Society5.0時代を牽引する女性リーダーの育成を目指し、**  
カリキュラムの検討・プログラミング教育の実施・インターン等による育成や、  
これらの取り組みをもとにした公的助成金等の申請を行います



# / 協賛会員一覧（2021/9/28時点）



## 大学

津田塾大学 総合政策学部 総合政策学科

- ・ 曾根原 登 教授
- ・ 小舘 亮之 教授
- ・ 鈴木 貴久 特任助教
- ・ Gavan P. Gray 准教授

日本女子大学 理学部 数物科学科

- ・ 長谷川 治久 教授

東京女子大学 現代教養学部・心理コミュニケーション学科・コミュニケーション専攻

- ・ 渡辺 隆行 教授

活水女子大学



## 産業界

富士通株式会社

アシアル株式会社

アドビ株式会社

株式会社セールスフォース・ドットコム

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社



## 学生代表

津田塾大学

- ・ 総合政策学部 市橋来夏

日本女子大学

- ・ 理学部 大井鞠奈

# / 各WGの活動内容（2021/02/22時点）

## ■ アプリ開発WG

- Monacaとニフクラ mobile backendを使ったアプリ開発

## ■ インターンシップWG

- コンソーシアムを活用したインターンシップ、就職活動支援

## ■ 省庁WG

- 女子大学生によるオンライン教育や行政サービス、観光ビジネス開発プログラムへの申請
- （文科省・経産省・総務省・国交省 など）

## ■ コンテストWG

- 全国女子大学生アプリ開発コンテストの企画・運営



# 過去のイベント

## ■ アプリ開発コンテスト

- 2020/1/16~2/17開催
- アプリの成果発表や企業からの講評を通して、優勝チームを競いました
- その後、産業界×学生との交流会を行いました



## ■ スマートフォンアプリ開発プログラミングワークショップ（オンライン）

- 2021/02/15開催
- 大学や学部の垣根を超えて、アプリの発表や交流会を行いました





# 過去のイベント

## ■ 11Daysアプリ開発ブートキャンプ

期間 : 2021年08月23日(月)～2021年09月02日(木)  
テーマ : New Normalな時代の課題を解決するスマートフォンアプリの提案  
開催形態 : Zoom  
参加大学 : 活水女子大学、津田塾大学、東京女子大学、日本女子大学  
(学部1年生から修士1年生まで幅広く参加)  
使用ツール : Adobe XD、Monaca Education、ニフクラ mobile backend

### ■ スケジュール



### ■ プログラム詳細



#### Day1. アイデアソン

チーム内でアイデアを出し合い、どのようなアプリを開発するかを決めていきます。



#### Day2-4. デザインフェーズ

Adobe 社製デザインツール Adobe XD を用いて、アプリのデザインを作っていきます。



#### Day5-10. アプリ開発フェーズ

デザインしたアプリを実際に開発していきます。この際に、クラウドとの繋ぎこみも行います。



#### Day10. プレゼンテーション

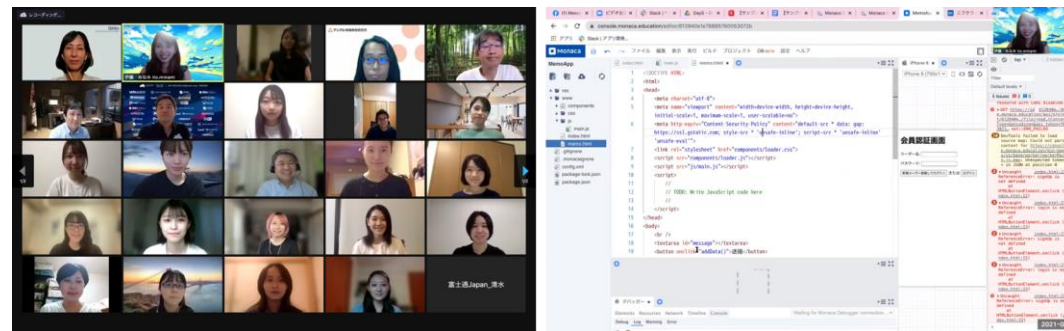
チームで開発した実際に動くアプリを全体にプレゼンします。



#### Day11. 企業研究会

賛同企業によって行われる企業・サービス紹介を通じ、IT業界への理解を深めます。

## ＜イベント内で開発したアプリ例＞



# 教材を使用した学習シミュレーション

プログラミング学習を通して**ICTリテラシー**を高めるだけでなく  
**企画力・プレゼンテーション力**が身に付きます。

## Step.1

Monaca  
言語学習

- JavaScript
- HTML
- CSS



## Step.2

出張授業①②  
mobile backend  
導入指導



## Step.3

Monacaと  
mobile backend  
を使った  
アプリ開発  
を学習



## Step.4

Monacaと  
mobile backend  
を使った  
チームアプリ開発  
を学習

発表

企画力育成

開発スキルを身に着ける

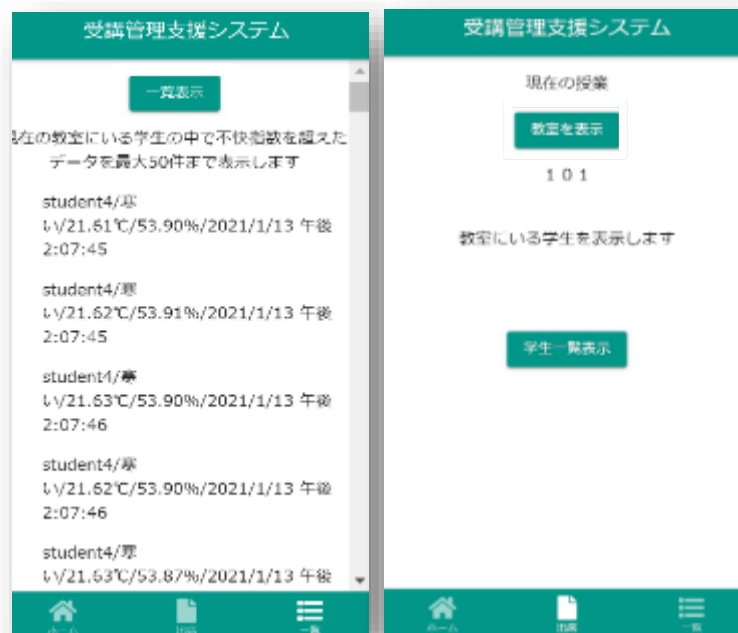
プレゼンカ  
育成

学習期間：半年～1年間

## 【参考】生徒・学生による開発アプリ例

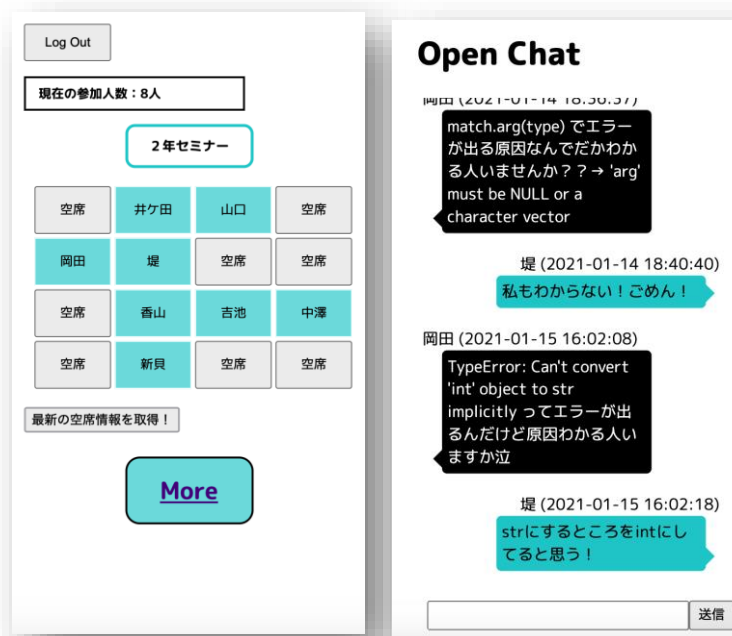
スマートフォンアプリは学生にとって最も身近な媒体であり**アイデアが浮かびやすい**

### 受講環境把握アプリ (IoT連携・自由課題)



<日本女子大学様>  
センサデバイスやウェアラブルデバイスと連携して、快適な教室環境を把握するアプリを2人で作り上げました。

### 学内コミュニケーションアプリ (自由課題)



<津田塾大学様>  
学内のコミュニケーションの課題をアプリで解決。ワイヤーフレームから書き起こし、チーム開発で作りあげました。

### 平塚市のグルメ紹介アプリ (LODチャレンジ「学生奨励賞」受賞)

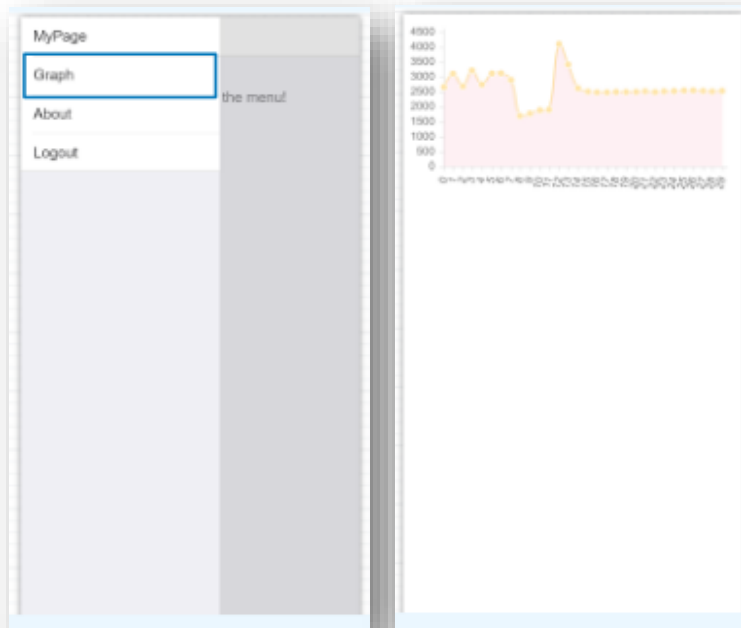


<島田商業高等学校様: 平塚マイスター>  
平塚市グルメをリトアニア語でご紹介  
※平塚市は、東京五輪において、リトアニア共和国のホストタウンです。

## 【参考】生徒・学生による開発アプリ例

スマートフォンアプリは学生にとって最も身近な媒体であり**アイデアが浮かびやすい**

### 家庭栽培支援アプリ (IoT連携・自由課題)



＜日本女子大学様＞  
センサデバイスや外部APIと連携して、家庭栽培をデータで可視化・プッシュ通知でお知らせするアプリを1人で作り上げました。

### 学内マッチングアプリ (自由課題)

＜津田塾大学様＞  
学内の身近な課題を解決し、充実したキャンパスライフを支えるアプリをチームにて開発しました。

### 服薬行動支援アプリ (自由課題)

年月日	服薬時刻	設定時刻
2020-10-26	19:03	19:00
2020-10-26	13:04	13:00
2020-10-26	8:32	8:30
2020-10-25	19:00	19:00
2020-10-25	13:00	13:00
2020-10-25	8:32	8:30
2020-10-24	19:01	19:00
2020-10-24	13:02	13:00
2020-10-24	8:35	8:30

患者B

☐ A ☐ B 服薬率 検索 テスト

＜日本女子大学様＞  
センサデバイスと連携して、患者に服薬を促し、医師や家族がリモートで服薬支援ができるアプリを2人で開発しました。



# 【参考事例】 津田塾大学様におけるアプリ開発事例

2019年度、富士通クラウドテクノロジーズ社の出張講師のもと、津田塾大学1年生～3年生までのゼミクラスにおいて半年間のスマートフォンアプリ開発授業を実施。プログラミング未経験の状況から、チーム開発でそれぞれアプリを開発し、最終的には富士通クラウドテクノロジーズ社社屋にてコンテストを実施した。

企画

資料作成

開発

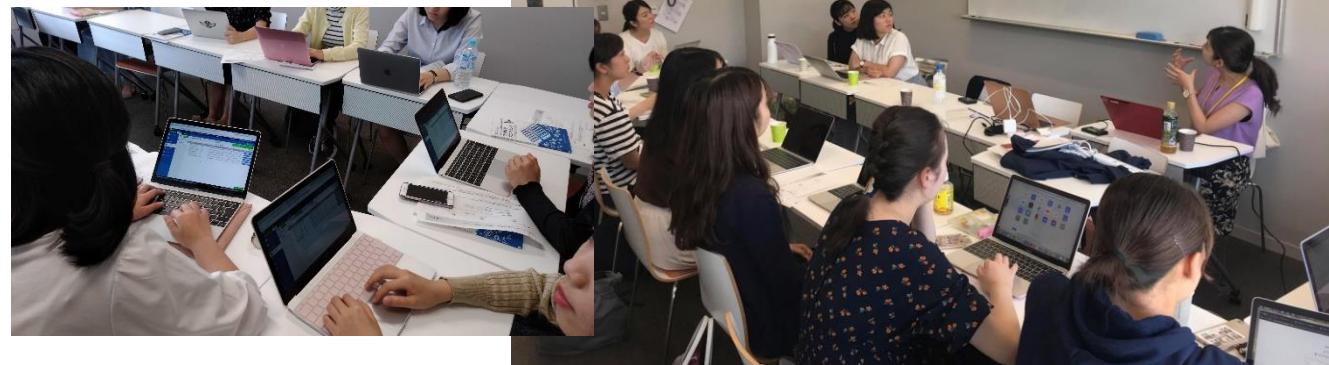
テスト

発表

- ・チームビルディング
- ・開発するアプリの企画
- ・アイデアだし
- ・役割分担
- ・画面遷移図の作成
- ・データの流れの整理
- ・コーディングを行いアプリを開発
- ・テスト
- ・実証実験
- ・チーム間等で発表



ゼミクラスでの出張授業  
チーム開発の様子



# / 賛同大学メリット

- 産学連携を通じ、実践的なICT活用能力を育む教育プログラムを提供できる
- 産学官連携を通して、実践的な能力を身に着けた学生を育成できる
  - 学生のキャリア教育、就活指導の幅が広がる
- 協賛企業/大学間でのコネクション強化
- コンソーシアム活動に対する助成金、補助金、事業費の取得機会の拡大
- 最先端の技術知見・データ・教材等の導入

# / 協賛企業メリット

- 産学官連携を通しての社会貢献および女性活躍社会の推進
- ICT技術に対して前向きな学生とのマッチング  
(直接的なコネクションの実現)
  - 就活サイトを経由しない人材募集
  - アプリ開発に興味があり、開発経験のある意欲的な学生とのマッチング
  - 文系の学問を修めながら、開発経験もある、幅広い素質を持つ学生とのマッチング
- 協賛企業/大学間でのコネクション強化
  - コンソーシアムを通じた情報交換
  - IT企業、大学等間の連携スキーム、エコシステムの構築
  - 各社の提供システム・サービスの普及、利活用できる人材の拡大、教育教材の販売



# / Wusic公式サイト

<https://wusic.jp/>

検索

女子大学生ICT駆動  
ソーシャルイノベーションコンソーシアム  
WUSIC  
Women's University students ICT-driven Social Innovation Consortium

コンソーシアムについて | メリット | 会員一覧 | 参加申し込み

連絡先| mb\_education@list.fjct.fujitsu.com | 問い合わせ窓口|富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

女子大学生ICT駆動  
ソーシャルイノベーションコンソーシアム  
WUSIC  
Women's University students ICT-driven Social Innovation Consortium

津田塾大学 TSUDA UNIVERSITY | 日本女子大学 JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

# Hello, World!

01 広い分野の学生が、社会に求められるイノベーションを考え、ICTを通じて実現することを実践的に学ぶ機会を提供します。

02 産業界との連携を推進し、あらゆる分野の学生がICTを活用する知識やサービス産業に関する理解を深める機会を提供します。

03 産業界には現代の学生について理解を深め、学生にどのように社会に貢献できるかを誘発する機会を提供します。

産業界と連携しながら、Society 5.0を支える女性人材を育成していくことは、

イベント情報などを  
随時更新予定です！

# / コンソーシアムへの賛同お申し込み方法

- 「女子大学生ICT駆動ソーシャルイノベーションコンソーシアム」準備委員会へのご賛同については、申込ページからお申込み下さいませ。
  - <https://wusic.jp/entry.html>
- 高度情報化社会における女性活躍の場を広げていくため、皆さまのご賛同をお待ちしております。

**問い合わせ窓口：富士通クラウドテクノロジーズ社**  
**mb\_education@list.fjct.fujitsu.com**



W U S I C